

平成30年度第2回学校関係者評価委員会 議事録

【日時】平成31年3月20日（金）14:45～15:00

【場所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委員】壱岐市社会福祉協議会副会長 品川 洋毅

壱岐市立老人ホーム所長 木屋村 伸吾

社会福祉法人博愛会

特別養護老人ホームハッピーヒルズ（幸せの丘）施設長 山口壽美

【事務局】中野 勝, 田島 百合子, 藤 玲子

【総評】学校説明会の機会を利用して介護に対するイメージアップの努力を行っており、壱岐に残りたいと考えている学生達の進路の可能性を広げている。
また、介護の楽しさを日々の授業の中で学生に伝えている。

1 前回の質問事項について回答

(1) 介護の楽しさについて実感できるような指導をしてほしい。

→施設実習を通して介護の大切さ、必要性を学ぶとともに利用者様とのコミュニケーションを促進することによって介護の良さがわかるよう指導している。
実習中の学生の気づきに注目し、それをどう介護に繋げていくのかを考えさせることで主体的に介護に向き合う姿勢を育んでいる。

(2) 高校の卒業生で壱岐に残りたいとの生徒達への働きかけをお願いしたい。

→職業理解・マネープラン等の学校説明会で高校に出向いて丁寧に説明している。毎年オープンキャンパスを実施し、実技体験や在校生との交流、個人面談の時間を設け、実際の学校の環境に触れ、入学後のイメージを明確に持てるよう努力している。

また、学校説明の機会に入学希望者と信頼関係を築き、何でも質問できる環境を作り、入学前の不安を軽減できるよう努めている。

今後も壱岐に残りたいと考えている学生に対して有益な情報を積極的に発信していきたいと考えている。